

令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 1

生産性向上補助金でレーザー溶接機を導入し、溶接工程が効率化しました！

有限会社新井製作所

事業概要：(業種：精密板金業)

神奈川県横浜市都筑区川向町 845-1

代表取締役：新井 健さん

【社長より一言】

1984 年より横浜市で精密板金加工を始めました。主な製品は、スケール部品・計測装置部品・小型ポンプ部品・コンピューター筐体を中心に製作しております。

t 0.01～t 3.2 の薄板加工の加工を得意としております。設計段階より積極的に形状の提案等を行っており、評価を頂いております。



◆導入した設備

◇レーザー溶接機（1台）



◆生産性向上のねらい

溶接工程は熟練度によって製品の出来に大きな影響があり、業務に携われる従業員はどうしても属人化してしまいます。今回の設備導入により、「経験が浅い従業員に任せることができる」と手ごたえを感じております。そして、従業員が多様な業務をこなすことができる「多能工化」を進めることで、受注状況に応じた人員配置が可能となることから、生産性向上が見込めると考えています。

～✍️神奈川県取材ノート～

工場内をご案内いただき、真っすぐに伸びる長い通路が印象的でした。これは業務の効率化を目指すためにあえて見通しを良くしたということです。こうした見通しの良さは、さらに従業員の怪我防止や、業務の進捗まで把握でき、改善意識が高いと思いました。

新井社長は「設備を導入するとはいえ、使い方は人によるので、100%を超えて120%設備を使いこなして他社との差別化を図り、さらに人目に触れる製品には意匠性をもたせたい。」と話していました。

社長や社員のアイデアを実際の形に変えていく社風を感じました。

●設備導入前の状況

「経験」と「技術」の必要な Tig 溶接を中心に行っていることから、作業にはベテラン従業員に依存しており、50 個を作るのに、4 時間 10 分程度かかっていました。



○設備導入後の状況

レーザー溶接にすることで、接合部分の熱の影響が少なくなり、経験の浅い従業員でも同レベルの製品ができるようになりました。治具などを工夫することで、時間短縮を図ることが出来、50 個を作るのに 3 時間 15 分程度に短縮できると考えております。



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

生産性向上補助金を知ったきっかけは、補助金のチラシを見たことです。補助事業計画は自分で作成しましたが、以前不採択となった経験があり、近隣の同業者の方から助言をいただき、より具体的な設備導入後の数値的根拠を入れるようにしました。また、いくつかある補助金の中で神奈川県補助金は交付後の報告も簡単だと経験者から聞き申請しました。

◆補助金を申請してよかった事

まだ設備を導入して間もないところですが、補助金を活用しレーザー溶接機を導入したことで、製品 1 個あたりの加工時間を短縮できる見込みです。このことにより、これまで見送っていた 300~400 個というロットの受注も対応できるようになり、これまでとは異なる分野の受注も可能になります。



◆最後にひとこと！

レーザー溶接機を導入したことで、今までは消極的であった「溶接のある部品」を受注可能となり、取引先にも積極的にアプローチできるようになったと考えています。現場からも「大きな戦力として計算できる」との声が上がっており、手ごたえを感じております。機械の性能を 120%活かせるようチャレンジしていきたいと思ひます。

